



発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙 10307-3/電話 0261-82-3100）

白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

草刈りボランティアに参加しました



7月26日（木）、白馬村神城の沢渡地区にある滝沢で、砂防施設の維持管理を目的とした草刈りのボランティア活動に参加しました。

当日は、主催した姫川建設業協会の協会員21社と当所からは中山所長はじめ職員7名の約30人が参加し、真夏の厳しい日差しのもと、砂防堰堤や管理用道路周辺の草刈りと支障木の伐採を約半日かけて行いました。この奉仕作業は、平成18年に姫川建設業協会と当所で、「砂防施設等維持管理ボランティア活動支援事業」が締結されて以来、毎年行われており、施設の機能回復面での効果が大きいものとなっています。

当所管内では姫川建設業協会の他、小谷・白馬両村の12地区とも同様の協定を結んでおり、ボランティア活動に対する支援を行っております。

ボランティア活動に貢献する地元の建設業の方々、及び各地区の皆様方の取り組みに対してあらためて感謝の意を表するとともに、引き続きボランティア活動へのご協力をお願い申し上げます。

なお、当所ではこのようなボランティア活動を行っていただける方を募集しておりますので、皆様方のご参加についてよろしく申し上げます。



現場紹介

小谷村南黒川沢に建設中の砂防堰堤が出来上がりつつあります。この砂防堰堤は、現場から発生した土砂に砕石とセメントを混ぜ合わせて強度を出し、締め固めることでできています。こうした工法をINSEM（インセム）工法と言います。コンクリートだけを用いた砂防堰堤にくらべて、残土量を減らすことができ、さらにコンクリート養生がないことから費用や工期も減らすことができる工法です。

工事の最中、土砂の中から土石流に巻き込まれたと思われる木の残骸が数本出てきました。年代測定の結果、西暦730年頃（奈良時代）に埋もれた木ではないかと推定しています。現場近くの林道沿いにありますので、ご興味がある方は是非、お出掛けください。

年末の完成を目指して、順次進めてまいりますので、引き続き、御協力の程お願いします。



工事中

砂防ダムツアー

8月4日(土)と5日(日)に小谷村観光連盟の企画で、土木アート砂防ダムめぐりツアーが開催されました。

小谷村には、砂防ダムが数多くあり、円柱形、ジャングルジムのようなものなど、形や工法も様々で見所満載です。土木施設というと、作る時には公共事業は無駄だと批判されたり、出来上がってみれば見向きもされないということが多いのですが、それを見て触れて感じて楽しんでもらおうというツアーです。

参加者はほとんどが県外から訪れた方で、この何とも珍しいツアーを堪能していただきました。



黒川
鋼製スリット
近づくと巨大なジャングルジムのようです

土谷川
セル堰堤
巨大な円柱で土石流を止めます



シリーズ70周年 ～ 姫川砂防事務所管内の特徴と砂防事業 ～

(第4回)

○ふだんは清流の姫川

姫川は日本でも有数の急流な川です。河川の延長は約60kmで長野県内は35kmです。

源流地帯(標高780m)の白馬村佐野坂から北に向かって、北アルプス白馬連峰から流れ出す犬川、平川、松川と合流しながら白馬の盆地を緩やかに流れ下りています。この3支川は土砂の流出の激しい急流で複合扇状地を形成しており、みそら野別荘地も平川が作った扇状地の一部です。白馬村の北端の通地区の姫川第2ダムを過ぎるといっきに渓谷地形を形成します。この辺から勾配が急になり300m～400mもの高さで両岸がせまっています。小谷村中小谷で土谷川、中谷川が合流し、北小谷に入り直ぐ稗田山大崩落地をひかえ、最も荒廃が著しく膨大な量の土砂を流失した浦川と合流します。その後葛葉峠の崩落斜面の脇を下り、姫川温泉を過ぎ、新潟県糸魚川市に入りヒスイで知られている小滝川などが合流し、日本海に注いでいます。

9月・10月の主な行事

白馬村

9月15日(土)・16日(日)

* 第2回白馬国際トレイルラン

9月15日(土)～9月17日(月)

* 収穫祭・信州うまいもの市(白馬五竜)

9月29日(土)～10月14日(日)

* いいなあ～白馬フェスティバル

小谷村

9月21日(金)～9月30日(日)

* 柵池自然園 紅葉祭り

9月29日(土)・30日(日)

* きのこと祭り(サンティンおたり)